

関西の高速網整備を

国交副大臣に要望書 県など

兵庫県や神戸市、関係者が23日、東京の西経済連合会、神戸商工会議所などでつくる「関西高速道路ネットワーク推進協議会」の解消に向けた要望書

を手渡した。この日は、協議会代表の森詳介・関経連会長や、兵庫県の荒木一聰副知事らが参加。大阪湾岸道路西伸部の事業予算確保、淀川左岸線延伸部の2017年度新規事業着手などを求めた。

高速道路網の整備について末松信介国土交通副大臣（右から4人目）に要望する森詳介・関西経済連合会会長（同5人目）ら＝東京都千代田区



森会長は「関西にとって重要な路線。地元も官民一体で取り組む」と訴え、末松副大臣は「私自身しっかりと進めたいと願つていい。この時期を逃す手はない」と返した。荒木副知事は「関西が一つになり、早期整備実現に向けて努力を重ねたい」と話していた。（佐伯竜一）

神戸新聞

2016年8月24日